

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. 19

令和3年11月1日発行

【9月定例会】

議案審議及び施政方針 2～3

町政に問う 一般質問 2人が登壇 4～5

委員会審議

総務厚生常任委員会 6

文教経済常任委員会 7

決算常任委員会 8～9



畑で育む
集落の元気



町長施政方針及び諸事の報告

「新型コロナワクチン予防接種」

9月10日時点で、町内12歳からの新型コロナワクチン予防接種の総対象者数は2,294名のうち接種希望者は1,894名(82.6%)となっている。接種希望者に対する接種完了者は1回目接種者が1,889名(99.7%)、2回目接種者が1,660名(87.6%)となっており2回目の接種についても計画どおり進めていきたい。

なお、概ね接種希望者へのワクチン接種については先の見込みが立ったため、集団接種は9月18日を最後とし、今後は予約制による個別接種での対応とすることとした。



「敬老会等の催事」

敬老会については老人クラブ連合会役員の方々と相談し、コロナウイルス感染防止の観点から本年も中止することとした。

町民文化祭については、池田町文化協議会や関係者の方々との意見交換のもと、感染防止対策を図ったうえで、10月30日・31日に開催することとした。

食の文化祭についても予定どおり11月6日・7日の両日に開催することとした。出店される店舗での感染防止対策を徹底していただくよう実行委員会にて指導周知いただく。

主 事 業

(千円未満切捨て)

○公共施設等総合管理計画の改訂 ……525万円

公共施設の今後見込まれる維持管理経費を算出し、今後の適切な維持管理・施設の更新等に向けた計画を策定する

○高齢者交通安全支援制度の補助金 ……440万円

誤発進抑制制御装置などを備えた自動車を購入する際の補助金の申請件数増加に対応し、高齢者の交通安全を支援する

○農業用施設の修繕 ……600万円

用排水路の修繕、農道舗装の実施

○有害鳥獣捕獲経費 ……612万円

シカの捕獲頭数が増加しているため、経費の増額を行い農林業被害を防止する

○町営住宅管理の民間委託費 ……77万円

町営住宅39戸分の家賃徴収や施設点検、空室管理等の業務を、石川県金沢市の(株)クロダハウスに指定管理する

対象施設

名 称	所在地	戸 数
特定公共賃貸住宅	学園・菅生	10棟
町営集合住宅 (マイコーポ)	谷口	2棟 (8戸)
若者定住促進集合住宅 (むすび荘)	藪田・新保	5棟 (17戸)
地方創世子育て 支援住宅	学園・藪田	4棟

○パソコン・イントラネット保守委託費 ……85万円

小・中学校におけるタブレット端末、通信ネットワークの保守を専門業者に委託し、ICT教育環境の安定的な運営を行う

9 月 定 例 会



高齢者交通安全支援制度補助金(440万円)など 一般会計補正予算 2,919万5千円の追加

9月定例会が9月14日から17日の4日間にわたり開催され、一般会計および4つの特別会計の令和3年度補正予算、条例に関する2議案、令和2年度決算の認定、その他2議案、計10議案が提出され、全議案可決されました。

定例会で提案された議案

議案第50号	令和3年度 池田町一般会計補正予算(第3号) …高齢者交通安全支援制度補助金や有害鳥獣対策費の増額等、各種事業費2,919万5千円を追加し、予算の総額を38億865万4千円に
議案第51号	令和3年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …ほっとプラザ屋根修繕および前年度補助金の返還金として568万5千円を追加し、予算の総額を2億9,987万1千円に
議案第52号	令和3年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第2号) …診察用エコー保守料および往診用モバイル端末購入経費として92万7千円を追加し、予算の総額を1億8,479万円に
議案第53号	令和3年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第2号) …予算の総額に変更はなく、委託料と工事請負費の予算の組み替え
議案第54号	令和3年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …住宅改修に係る給付費および前年度補助金の返還金として1,219万3千円を追加し、予算の総額を4億3,795万5千円に
議案第55号	池田町個人情報保護条例及び池田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
議案第56号	池田町手数料条例の一部改正について …議案第55号、56号とも行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部が改正されたための条例改正
議案第57号	公の施設の指定管理者の指定について …町営住宅39戸分の管理を石川県金沢市の(株)クロダハウスに指定管理をするもの
議案第58号	令和2年度 池田町各会計歳入歳出決算の認定について …令和2年度の一般会計他7つの特別会計の歳入歳出決算の認定
議案第59号	物品購入契約の締結について …池田町診療所への電子カルテシステム導入について、786万5千円で(株)スズケン福井支店と契約

【審議結果】 議案第58号については、宇野邦弘議員が反対、その他9議案は全員一致で採択

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



丸石 純一 議員

広報いけだのあり方

広報誌についてのあり方と議会と議論がなされたといえないことについて再度確認したい。

総務財政課長

役場が発行する広報誌は、町民の方に正しい情報を確実に分かりやすく伝えることが重要であり、広報いけだについては役割が2点あると考える。1点目は町民の方に行政サービスに関する情報の周知や活用促進を図る役割である。伝える内容としては町主催の行事・イベントなどの情報や補助金や手当のご案内など、行政として説明責任を要する情報などである。2点目は町民の方に町政をめぐる現状認識とそれに基づ

く問題・課題を提起し、参画を促す役割である。例えば町が策定する各種の計画案の提示や町の重点政策の必要性の周知などがある。このように広報誌は、そもそも行政政策を正確に伝えるものであることから、行政サービスや重要政策を周知することを重点的に行うこととした。このことについては以前より役場内で議論してきたことではあるが6月議会の委員会及び全員協議会において広報誌のあり方が問われたので、これを機会に広報誌は役場からのお知らせや重要政策を周知するという基本形に戻した。

観光協会の今後

既存のいけだ農村観光協会の仕組みと役割は。

農村政策課長

池田農村観光協会は、平成24年5月に池田町の農村資源を活かした観光振興と地域経済との連携を目的として、町内5つの事業者により設立された。また池田町は顧問という形で関わっている。現在の会員は13事業者である。事業については、役場の観光行政の外部委託として観光案内、マスコミの取材対応、SNSを活用した情報の発信、ホームページの管理など情報管理を行っている。またフリーペーパーいけだのみの発行、旅行雑誌への広告掲載など、池田町への誘客や町内業者が行う商品開発の支援、マルシェ運営の事務局業務を行っている。

観光DMOの進捗状況は。

農村政策課長

観光DMOとは地域自然、食、芸術、風習等を観光資源としてとらえ地域の関係者との協働により、観光を核とした地域経済の活性化を図る組織として理解している。設立に当たっては観光を通じての地域づくりの目的と役割、組織、財政及び人材の確保と、多くの課題がある。そのため現在の市町村のDMO設立又は運営を参考に調査を行っている段階である。

木望の森プロジェクト

木望の森プロジェクトに関して、山林の寄付はいつから受け入れるのか。

木望の森づくり課長

山林の寄付については平成31年4月より森林経営管理法が施行されたことを受け森林所有者で経営や管理が困難な方からご相談や申し出があったものから寄付を受ける取り組みを始めている。

懇話会の報告

自治懇話会、環境懇話会が開かれたが、どのような話が出たのか概略について報告を。

町長

自治のまち育てを考える懇話会については男性4名、女性3名の7名の委員をお願いしている。また環境向上活動グレンジアップ懇話会については男性4名、女性4名の8名の委員をお願いしている。また事務局として2名から3名が出席している。これまでに両懇話会は2回ずつ開催し、有意義な意見交換を頂いているが、現時点において特段議会にお伝えすべき内容は無い。

どのような告知の方法を考えているか。

木望の森づくり課長

木望の森100年プロジェクトについては、林家組合長からの要望に応じて行う集落説明会などで詳細について、随時説明してまいりたいと考えている。

一般質問



宇野 邦弘 議員

気候危機打開のために、町としても木質バイオマスなど再エネ推進を

気候危機打開に原因であるCO₂排出を今後10年足らずの間に半分まで減らせるかどうか、人類の未来がかかっている。政府も温暖化対策推進計画やバイオマス活用推進基本法もとづく活動推進を自治体に求めている。町の推進計画や再エネ推進の考え方は、森林環境贈与税も活用して木質バイオマス推進のためのチップ工場なども必要では。巨大な風力発電

電でなく、小型の風力発電、小水力、太陽光など本格的に進めるべき。

木望の森づくり課長

地域エネルギーの循環と自立、地球温暖化対策ともなるバイオマスエネルギーの拡充と森林の豊かさ、価値を高める木望の森100年プロジェクトとして推進して行きたい。バイオマスエネルギーの供給とチップの製造システムについては役場新庁舎事業と合わせ導入を検討している。森林環境贈与税については地域の森林管理や林業振興を対象とし、施設整備については各種補助金をもちいた方が有利と考えている。

米価の暴落対策や個別所得保障制度を国に求めて

コロナ禍のもとの米価暴落への対策として、過剰米を買い上げて食糧支援に回すなど市場から隔離すること、政府の責任で米の自給と価格の安定を図ることを政府に求めるべきでないか。

農村政策課長

町の主食用米生産数量1200トン

広報に従来のように町民の様々な取り組みを紹介すべき

7月から議会での意見もあり変更したと広報の中身が変わったが、いつどこで誰が決めたのか。個人や民間団体のことは今後載せず、純粋に行政の案内広報とすると説明しながら、一方で五輪での活躍はすごいことだが徳南選手については表紙含めて多くのスペースで載せている。従来のように町民から喜ばれている情報も掲載し、慕われる広報に戻すように。

総務財政課長

広報のあり方については丸石議員の質問にお答えした通りである。あり方については依然から検討しており、本来あるべき広

コロナ対応の臨時交付金、PCR検査の拡充について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付額と活用は、コロナ禍のもとで医療や介護施設への減収補填、中小零細業者や農業者への支援を繰り返し行うことや、学校や子ども園介護施設の職員などへの定期的な無料のPCR検査を国に求めるように。子ども達などへのPCR検査は町独自の実施も検討を。

総務財政課長

見込みも含め2億6700万円。事業者への支援金や各家庭の地域応援券の支給、光ファイバーの整備、公共施設の感染予防対策等に活用している。PCR検査体制充実については、全国町村会が緊急要望として国に行っている。



委員長 宇野一正 副委員長 松井靖明 委員 飯田拓見 和田義則 宇野邦弘 丸石純一



高齢者交通安全対策支援制度事業

丸石議員 事業が最終年度になるが、今後、どのようになっているのか？ 運転免許自主返納バックアップ事業はぜひ継続して頂きたい。総務財政課長 今後どのようにするのかは、検討していく。免許返納は警察本署でないといけないが出張してもらい役場でできるような日を設ける予定である。事業をやめる場合は、早めに周知する。

マイナンバーカード

和田議員 取得について、キャンペーン事業の効果から8月末現在で大きく増加しているが、最終目標としているキャンペーン期間中1700人の達成は厳しい感じがする。8月末までに取得された方の年代別の取得率はどうなっているか。また池田町においてカードが保険証として利用できるのはいつ頃からか。住民税務課長 年代別取得率は、大きな偏りがない。一番高いのは60代で48・1%であり、それ以外の年代は30〜40%で横並びであることから、どの年代に絞って周知したらいいか検討している。保険証の利用は、医療機関でマイナンバーカードを保険証として利用できる整備が必須からか。

町営住宅の指定管理

丸石議員 現在むすび荘前や落雪した雪の除雪については町が行っているが、今後雪のトラブルやその他のクレーン等については、指定管理をしたクロダハウスにまず苦情が入って、役場に連絡が来る形になるのか。また区費の支払いについてはどうなるのか？ 総務財政課長 苦情等はまずクロダハウスに入ることになる。対応できない場合については役場に連絡があり対応を考える。副町長 区費については、入居要件に入っているの、払わない方は居ないという想定である。除雪について、道路を除雪後に、町有施設の除雪をしている状態であり、基本は、道路まで入居者に除雪してもらおう。



総務財政課長 家賃滞納者はいない。民間企業に委託することで家賃の銀行引き落としができるようになることから、入居者にもメリットがあり、また家賃の回収が確実にできるようになる。和田議員 指定管理する最大のメリットは？ 総務財政課長 現在、職員1名で業務を兼務に行なってきたが、大変な労力であった。プロである民間に任せることで業務量が減り、他の業務に注力できることがメリットだと考える。水海に建築予定の物件も指定管理に出す予定である。

質 疑 応 答

委員長 佐野和彦 副委員長 丸石純一 委員 岩崎昭一 宇野邦弘 宇野一正 松井靖明



池田屋事業報告

宇野一正議員 池田屋には町よりの補助金が入っているが、以前より食の部門が赤字である。サービス内容を考えていく必要があると思う。毎回似た料理が出てくるが、研修等が必要ではないのか。土合地区の看板に統一性がないのではないか。農村政策課長 提供するメニューのレベルアップについては、今後の事業展開も視野に入れて考えていきたい。看板の統一性については、現状の確認を行う。

住み家支援事業

宇野邦弘議員 住み家支援事業の100万円は1件増えたのか。町土整備課長 1件増えたため追加で予算計上した。佐野議員 どのエリアでの申請か。町土整備課長 寺島である。佐野議員 地区によって利用状況にばらつきがあるように感じるが。副町長 町有住宅が無い地区の利用が多い傾向がある。



若い人は、家に思い入れが少ない、古民家を改修してコストを抑えたいという思いが強いような気がする。

堆肥施設の修繕

丸石議員 堆肥製造の件で、堆肥の性質上、機器が老朽化してきているが、大規模修繕は考えているのか。町土整備課長 かなり老朽化してきている、順次取り替え修繕している。今年度、点検を実施する。システムを変えるのではなく、今あるものを生かす修繕を考えている。



トラクターを使った生ごみの粉碎(魚見)

獣害対策

宇野一正議員 有害駆除のわなは池田全体でかけているのか。農村政策課長 場所は指定していない。有害鳥獣捕獲隊員の方に任せている。宇野一正議員 地区によっても仕掛けがないということか。農村政策課長 資格をお持ちの方と地域との連携が必要と考えている。丸石議員 毎年かなりの頭数を駆除して支払いしているのか。頭数の計画だけか。農村政策課長 長期的な計画は、県の計画があり捕獲計画頭数の上限が決まられている。池田町では、主にシカは県の捕獲計画頭数よりも実績頭数が増えているため、過去3年間の実績を基に予算の計上をしている。シカはかなり増えてきており、その年の実績に応じ予算対応も行っている。

質疑応答

委員長 松井靖明
副委員長 岩崎昭一
委員 飯田拓見 佐野和彦 宇野一正
和田義則 宇野邦弘 丸石純一

総務財政課

飯田議員 分収造林の再契約については、何年で見直しになるのか？

また、部子山の町の分収造林はどうなっているのか？

副町長 個々の契約なので概ね30年であり、契約期間に満了が基本であるが、期間は統一されておらず決まっていない。

部子山の分収造林は地面が池田町、木が区となっている。

和田議員 マイナンバーの中間サーバーの費用は毎年支払いが発生するの？

総務財政課長 毎年支払っている。人口規模によって負担金額が異なる。

宇野邦弘議員 富田家の管理費についての進捗はどうなっているか？

副町長 富田家(東侯)、谷崎家(学園)についての対応は今年度中に決定したいと考えている。

業務委託費用を計上し、空き家をリノベーションする会社と契約した。

今後、空き家プロデューサーを募集し、地域と連携して空き家活用する。最優秀プランには無償で貸与し、活用していただきたいと考えている。

町としては、無償貸与するだけではなく、地域の活性化も図りたいと考えている。

住民税務課

丸石議員 地方税電子申請等システムの利用は効率化に繋がっているのか？

住民税務課長 事業者や年金からの特別徴収、法人の申告・届出等の電子データをそのまま管理することができ、効率化やペーパーレス化に繋がってはいる。しかし、すべてにおいて電子データ化できておらず事務が煩雑な面もある。

佐野議員 システムエラーによる損害賠償等への対応は？

副町長 システムエラーの損害賠償請求については、一般的にはエラーの対処に要した費用しか請求できない。失った信用に対する部分については、請求できない。契約満了

農村政策課

後に再契約時に業者を変えるなどで対応を考えている。

佐野議員 山際、奥地の耕作放棄地の農地の維持管理や活用について、そのような水田を畑に変更できないか？

農村政策課長 傾斜田については県がテスト的に取り組んでいるのは聞いています。県の事業内容等を確認しておく。

宇野一正議員 ワナにかかったシカをクマが食べて、肉の味を覚えると、人を襲うようなことないのか？

農村政策課長 捕獲したシカをクマが食べたという報告はある。現状、クマの慣れや肉慣れに対して具体的な対策は明確ではないが、県には許可捕獲数の増頭を要望している。

松井議員 清水谷の旧トネルで試験栽培されている高付加価値作物の進捗はどうか？

また、越前市側が閉口され、洞窟のような状況で空気の循環

環等、影響はないのか？

農村政策課長 昨年、購入したウド苗、ニラ苗を入れて、テスト的に栽培を行なったが思ったように育たなかった。今年は播種で育てた強い苗を入れて、経過を見る予定である。

和田議員 冠山トンネル国道417号線の岐阜県側の開通が近づいてきた。今後、揖斐川町も含め広く名古屋圏とも交流していく必要があると思うが、また、揖斐川町の観光連絡協議会負担金20万円はどういったことへの経費か？

農村政策課長 国道417号線を介して他の町との連携については現状取り組みができていない。負担金については冠山の登山道の整備やトイレのそうじ等に使用している。

木望の森づくり課

佐野議員 新庁舎建設のスケジュールは、木質バイオマスが原因で遅れているのか？

副町長 木質バイオマスの遅れが原因ではない。

仕様が決まり、材が決まり、そこから材の乾燥を始めることから、4〜5年かかるかと考えている。

当初予定の令和7年中の完成は厳しいスケジュールになり、令和8年夏の完成を考えている。

12月議会には、将来の役場や公民館、図書館のあるべき姿をプロポーザルする条件をお示ししたい。

松井議員 木質バイオマス調査委託料はどういった費用か？

副町長 バイオマスボイラーをつけて、どんなボイラーがフィットするのかを調査する委託料である。役場だけでなく、ほっとプラザなどに、ボイラーの熱と太陽光による電気の供給を併せてのシステムを導入することを検討している。

宇野一正議員 野尻のモデル林の事業は着手しているのか？

また、木質チップの製作も考えているのか？

副町長 事業の着手は行っている。

池田材を使つての、間伐・乾燥させることがメインのテストであり、チップの製作はサブテストである。

岩崎議員 木材は人工乾燥機の乾燥が主流であり、自然乾燥まで考えなくて良いのではないかと思うのだが？

副町長 庁舎の材は人工乾燥する予定である。チップについては自然乾燥となるが、チップにしてから乾燥がよいのか、乾燥させてからチップにするのかを今後さらに研究していく。

岩崎議員 町有林も県有林のように、伐採して入札してはどうか？

副町長 森林法上、伐採した場合、再度造林する義務が生じる。そのため伐採しただけで放置される問題が全国的に発生している。

木望の森プロジェクトでは、切らずに、森の価値が上がるような多面的機能の森を増やしていくことを考えている。

町土整備課

和田議員 今年の新規事業で月ヶ瀬―稲荷線が入っているが、用水に落ちないような安全策は講じているのか？

町土整備課長 高さが基準以下であり除雪の障害となることを考えられるため、基本的には柵等の設置は考えていない。

丸石議員 上水道の漏水の問題はどうなっているのか？

町土整備課長 中地区の冬期間凍結による宅内配管漏水が多く1時間あたり20トン以上あったが、現在は落ち着いてきて1時間あたり10トン程度である。

順次、水道管の更新を行なって対応している。

教育委員会

飯田議員 子どもの英語学習への習熟度は現在どのような状況か？

教育長 池田町では10年前からこども園や小学校で英語教育を遊びの中から学ぶ取り組みを行なっている。

池田中学校の教員より、池田の中学生は入学当初からスムーズに英語の授業に入れていると聞いている。

佐野議員 人口減少しているなかで、教育に関する予算は、手厚くしていると思っているが、教育費について、他市町と比較したデータはあるのか？

教育長 そういったデータは持っているが、他の市町に劣っているとは思っていない。

佐野議員 (意見) 子ども達が池田で育ったことを誇りに思っていていけるような、教育をお願いしたい。

松井議員 (意見) 子ども達に仲間意識が高まって良い方向に向かっているように感じている。

保健福祉課

宇野邦弘議員 病児病後児保育室の再開の目処は？ 昨年は支出は、全く無かったのか？

保健福祉課長代理 再開の目処はたっていない。支出は、建物の補償保険料のみである。

佐野議員 ママがんばる手当と子育てバックアップ支援事業との違いは？

保健福祉課長代理 ママがんばる手当は、3歳までのお子様をお持ちの母親に月2万円のいけだ応援券と1万円の現金を支給している。教育委員会の子育てバックアップ支援事業は、昨年コロナウイルス関連事業の子ども一人あたり3万円支給した事業である。

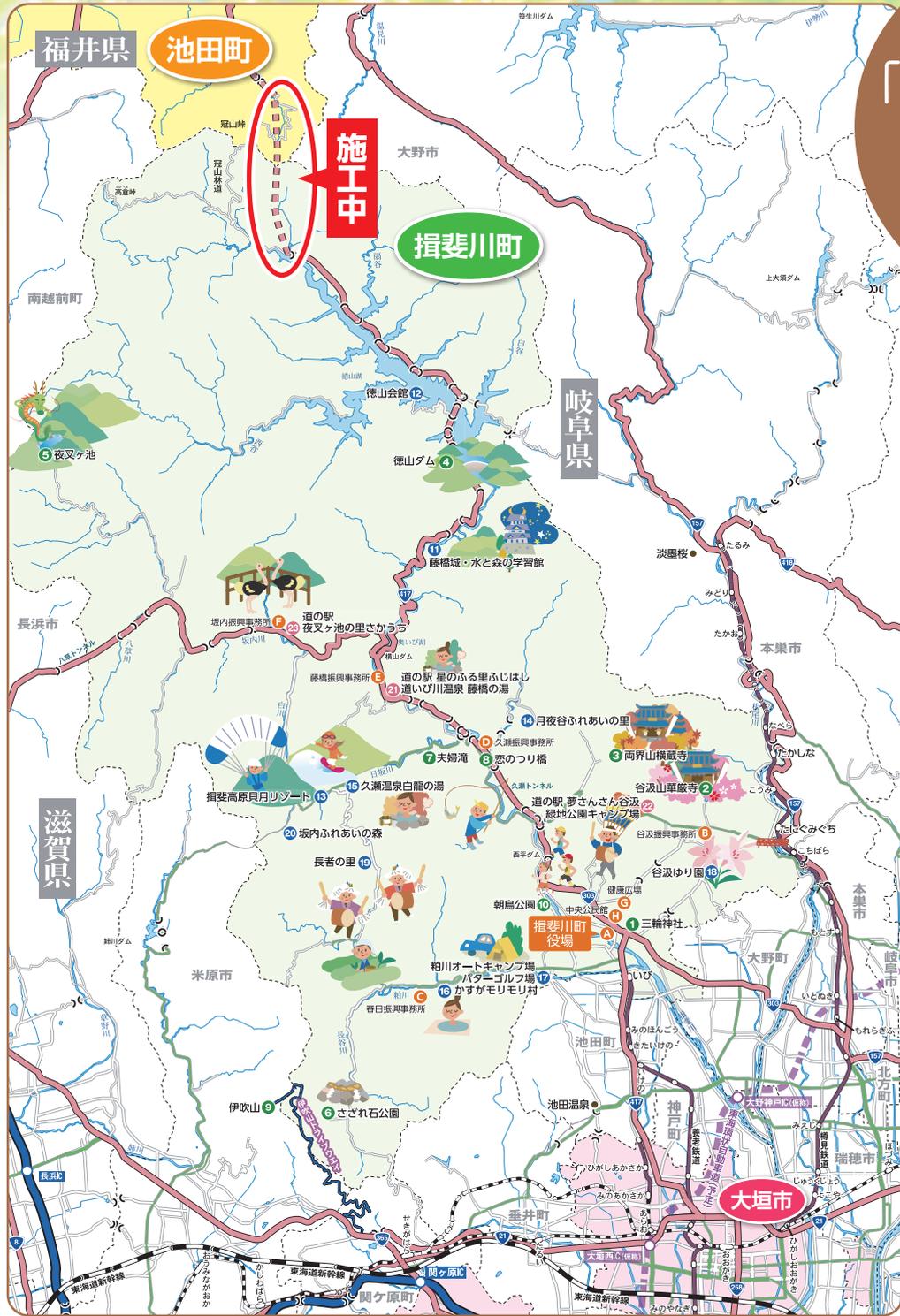


国道417号
「冠山峠道路」が
2023年内に
全線開通予定



国道417号線は岐阜県大垣市から福井県南越前町までを南北に結ぶ路線ですが、細い林道が通じているものの、国道は「車両通行不能区間」として途切れている状態です。冠山峠道路はこの区間をつなげる約7.8kmの事業で県境部を2本のトンネルで貫きます。

車で1時間30分程、大垣市役所までは2時間程で通行可能となり、国道が開通することで、揖斐川町へは冬の間も通行可能となるため、ますますの交流が期待されます。また冠山トンネルを抜けて大垣までの間には様々な観光スポットがあり、今後観光に関しても広域的な連携強化が必要となります。



編集後記



議会だよりの表紙写真では、町民の皆さんの様々な池田らしい取り組みを紹介していきます。今後も引き続き集落やサークル・団体などの創意ある動きなども取り上げていきたいと考えています。ご意見等ありましたらお知らせください。
(宇野邦弘)

表紙の写真

集落の高齢者の健康づくりと、畑をしない(できなくなった)方へのおすそ分けを目的に始めた「ひがしまた農園」。毎年、夏と秋に子ども園の年長さんが収穫体験に訪れ、子ども達の生き生きとした姿に集落の皆さんも笑顔と元気をもらっているそうです。

議会広報特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 丸石 純一 |
| 副委員長 | 宇野 一正 |
| 委員 | 佐野 和彦 |
| 委員 | 宇野 邦弘 |
| 委員 | 松井 靖明 |
| 発行責任者 | 飯田 拓見 |